

2. 新名神高速道路の交通量分担率の変化

・豊田JCT～草津JCT間を通過する6月の交通量は約1万台/日で、そのうち新名神高速道路を経由する割合は約8割です。3月の約6割から徐々に分担率は増加し、名神高速道路から新名神高速道路への通過交通の転換が進んでいます。

【名神ルート(160km)】
 通過交通量：約2千台/日
 分担率：約2割



【新名神ルート(126km)】
 通過交通量：約8千台/日
 分担率：約8割

交通量計測装置によるデータおよびIC間交通量を用いて分析。
 (四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。)
 通過交通量は、平成20年6月1日(日)から6月30日(月)までの日平均交通量を記載。

月別新名神ルート分担率の推移

